# 京都市立芸術大学学則

（平成２４年４月１日理事長決定）
（平成２６年３月１１日一部改正）
（平成２６年４月１日一部改正）
（平成２７年３月３１日一部改正）
（平成２８年１月１日一部改正）
（平成２８年４月１日一部改正）
（平成３０年３月２９日一部改正）
（平成３１年３月１日一部改正）
（令和２年３月２３日一部改正）
（令和３年３月３１日一部改正）
（令和３年８月３０日一部改正）
（令和４年３月１６日一部改正）
（令和４年９月８日一部改正）
（令和５年３月３０日一部改正）
（令和７年６月１０日一部改正）
（令和８年３月３１日一部改正）
（令和８年９月２８日一部改正）

目次

第１章　総則（第１条～第８条）
第２章　学部
第１節　総則（第９条～第１１条）
第２節　学年、学期、休業日、修業年限等（第１２条～第１６条）
第３節　入学、留学、休学、退学等（第１７条～第２９条）
第４節　授業（第３０条～第３５条）
第５節　卒業及び学位（第３６条・第３７条）
第６節　委託生、科目等履修生、単位互換履修生、聴講生及び外国人留学生（第３８条～第４３条）
第７節　賞罰（第４４条・第４５条）

第８節　教員の免許状（第４６条）
第３章　研究機関（第４７条・第４８条）
第４章　雑則
第１節　公開講座（第４９条）
第２節　展覧会（第５０条）
第３節　演奏会（第５１条）
第４節　補則（第５２条・第５３条）
附則

## 第１章　総則

（目的）

第１条　京都市立芸術大学（以下「本学」という。）は、広く知識を授けるとともに、深く芸術に関する理論、技能及びその応用を教授研究し、もって文化の向上に寄与することを目的とする。

（自己点検・評価等）

第２条　本学は、教育研究水準の向上に資するため、本学の教育及び研究、組織及び運営並びに施設及び設備（次項において「教育研究等」という。）の状況について自ら点検及び評価を行い、その結果を公表するものとする。

２　本学は、前項の措置に加え、本学の教育研究等の総合的な状況について、学校教育法第１０９条第２項の規定に基づき、政令で定められた期間ごとに、文部科学大臣の認証を受けた者による評価を受けるものとする。

３　第１項の点検及び評価並びに前項の評価に関し必要な事項は、別に定める。

（教育研究活動等の状況についての情報の公表）

第３条　本学は、学校教育法施行規則第１７２条の２第１項の規定に基づき、同項各号に掲げる教育研究活動等の状況についての情報を公表するものとする。

２　本学は、前項に規定するもののほか、教育上の目的に応じ学生が習得すべき知識及び能力に関する情報を積極的に公表するよう努めるものとする。

（学部）

第４条　本学に次の学部を置く。

美術学部

音楽学部

２　各学部の教育研究上の目的は、次のとおりとする。

⑴　美術学部は、国際的な芸術文化の都である京都の文化的・人的資源を生かし、独創的で多様な研究を背景に、専門的かつ横断的な教育を通して、優れた芸術家をはじめ独創的な人材を生み出し、もって社会に貢献することを目的とする。

⑵　音楽学部は、個性を尊重し創造性を育む専門的な音楽芸術の教育研究により、幅広い教養を併せ持つ優れた音楽家や研究者となりうる人材を育成し、もって社会に貢献することを目的とする。

（大学院）

第５条　本学に大学院を置く。

２　大学院に関し必要な事項は、別に定める。

（研究機関）

第６条　本学に日本伝統音楽研究センター（以下「伝音センター」という。）及び芸術資源研究センター（以下「芸資研」という。）を置く。

２　伝音センターは、日本の伝統的な音楽・芸能と、その根底にある文化の構造を研究し、その成果を公表し、もって社会に貢献することを目的とする。

３　芸資研は、美術学部、音楽学部、附属図書館、芸術資料館等で蓄積されてきた芸術資料の調査・研究を通じて、新たな芸術の創造や活用に資することを目的とする。

（附属施設）

第７条　本学に附属図書館及び芸術資料館並びにギャラリー@ＫＣＵＡを置く。

２　附属図書館及び芸術資料館並びにギャラリー@ＫＣＵＡに関し必要な事項は、別に定める。

（職員）

第８条　本学に次の職員を置く。

学長

副学長

学部長

研究科長

日本伝統音楽研究センター所長

芸術資源研究センター所長

芸術資源研究センター副所長

教授

准教授

講師

専任研究員

事務局長

学生部長

情報管理主事

附属図書館長

芸術資料館長

ギャラリー@ＫＣＵＡ長

キャリアデザインセンター長

堀場信吉記念ホール館長

事務職員

学芸員

司書

保健師

その他の職員

２　本学に助教及び助手を置くことがある。

３　学長は、本学の校務をつかさどる。

４　副学長は、学長を助け、命を受けて校務をつかさどる。

## 第２章　学部

### 第１節　総則

（学科、専攻及び収容定員）

第９条　学部の学科、専攻及び収容定員は、別表第１のとおりとする。

（教授会）

第１０条　学部に、学部の教育研究及び運営に関する重要な事項を審議するため、教授会を置く。

２　教授会は、当該学部の教授、准教授、講師（常時勤務の者に限る。）及び助教をもっ

て組織する。

3　教授会は、次に掲げる事項を審議し、学長に意見を述べるものとする。

⑴　学生の入学及び卒業

⑵　学位の授与

⑶　学部の教育課程の編成に関する事項

⑷　学部の教育研究についての教員の業績審査及び法人が自ら行う点検及び評価に関する事項

⑸　前各号に掲げるもののほか、教育研究に関する重要な事項で、教授会の意見を聴くことが必要なものとして学長が定めるもの

4　教授会は、前項に規定するもののほか、学長及び学部長その他の教授会及び教授会に準じる運営委員会が置かれる組織の長（以下「学長等」という。）がつかさどる教育研究に関する次に掲げる事項について審議し、及び学長等の求めに応じ、意見を述べることができる。

⑴　中期目標について市長に述べる意見及び年度計画の策定に関する事項のうち、教育研究に関するもの

⑵　法により市長の認可又は承認を受けなければならない事項のうち、教育研究に関するもの

⑶　教育研究に関する予算の提案に関する事項

⑷　大学、学部その他の重要な組織の設置又は廃止に関する事項のうち、教育研究に関するもの

⑸　学則（法人の経営に関する部分を除く。）その他の教育研究に関する重要な法人の規程の制定又は改廃に関する事項

⑹　学長から学部長に付議された教員の人事に関する事項

⑺　学生の円滑な修学を支援するために必要な助言、指導その他の援助に関する事項

⑻　学部の学生の在籍に関する事項

⑼　学部長及び学部から選出する教育研究審議会委員等の候補者の選出に関する事項

⑽　学部の学生の賞罰に関する事項

⑾　前各号に掲げるもののほか、教育研究に関する重要事項

5　前各項に定めるもののほか、教授会に関し必要な事項は、別に定める。

（授業料等）

第１１条　授業料及び委託料は、前期分にあっては当該年の４月３０日までに、後期分にあっては当該年の１０月３１日までに納付しなければならない。

２　前項の規定による納期の末日が日曜日、土曜日又は国民の祝日に関する法律に規定する休日（以下「日曜日等」という。）に当たるときは、その日後最初に到来する日曜日等でない日を納期の末日とする。

３　前２項に定めるもののほか、授業料、委託料、入学考査料及び入学料（以下「授業料等」という。）に関し必要な事項は、別に定める。

第２節　学年、学期、休業日、修業年限等

（学年）

第１２条　学年は、４月１日に始まり、翌年３月３１日に終わる。

（学期）

第１３条　学年を分けて次の２学期とする。

前期　４月１日から９月１９日まで

後期　９月２０日から３月３１日まで

（休業日）

第１４条　授業を行わない日（以下「休業日」という。）は、次の各号に掲げる日とする。

⑴　日曜日及び土曜日

⑵　国民の祝日に関する法律に規定する休日

⑶　春季、夏季及び冬季休業日

２　前項第３号の休業日は、別に定める。

３　学長が必要と認めるときは、臨時に休業日を設け、又は第１項の休業日を変更することができる。

（修業年限）

第１５条　学部の修業年限は、４年とする。

（在学年限）

第１６条　学生は、学部に６年をこえて在学することができない。

２　前項の期間には、休学の期間を算入しないものとする。

第３節　入学、留学、休学、退学等

（入学）

第１７条　入学の時期は、学年の始めとする。

（入学資格）

第１８条　学部に入学することができる者は、次の各号のいずれかに該当する者とする。

⑴　高等学校又は中等教育学校を卒業した者

⑵　通常の課程による１２年の学校教育を修了した者（通常の課程以外の課程によりこれに相当する学校教育を修了した者を含む。）

⑶　外国において学校教育における１２年の課程を修了した者又はこれに準じる者で文部科学大臣が指定したもの

⑷　文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者

⑸　専修学校の高等課程（修業年限が３年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者

⑹　文部科学大臣が指定した者

⑺　高等学校卒業程度認定試験規則（平成１７年文部科学省令第１号）による認定試験合格者（旧大学入学資格検定規程（昭和２６年文部省令第１３号）による資格検定合格者を含む。）

⑻　「飛び入学」した者であって、高等学校卒業程度認定審査規則（令和４年文部科学省令第１８号）による高等学校卒業程度認定審査に合格した者

⑼　「飛び入学」した者であって、学長が大学教育を受ける学力があると認めた者

⑽　その他相当の年齢に達し、学長が高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者

（入学の出願）

第１９条　学部に入学を志願する者（以下「入学志願者」という。）は、別に定める書類により学長に願い出なければならない。

（入学試験）

第２０条　入学志願者に対しては、入学試験を行う。

２　入学試験に関し必要な事項は、別に定める。

（入学許可等）

第２１条　入学試験に合格した者は、学長が指定する期日までに、入学料を納付し、かつ、誓約書その他別に定める書類を提出しなければならない。

２　学長は、前項の規定により入学料を納付し、かつ、書類を提出した者に対し、入学を許可する。

（再入学、転入学及び編入学）

第２２条　学長は、学部を退学した者で再入学を志願する者、他の大学から転入学を志願する者又は他の大学を卒業した者で編入学を志願するものについては、選考のうえ、入学を許可することができる。

（他の学校への転学及び入学）

第２３条　他の学校へ転学又は入学を志願する学生は、あらかじめ学長の許可を受けなければならない。

（留学）

第２４条　本学が学生の留学に関して協定又は認定した外国の大学に留学して授業科目を履修しようとする学生は、あらかじめ学長の許可を得なければならない。

２　前項の留学期間中に履修した授業科目及び修得した単位の認定については、別に定める。

（休学）

第２５条　病気その他やむを得ない理由により９０日以上修学することができない学生は、学長の許可を得て休学することができる。

２　学長は、病気のため修学することが不適当と認められる学生に対しては、休学を命ずることができる。

３　前２項の休学の期間は、１年をこえることができない。ただし、学長は、特別の理由があると認めるときは、休学中の学生の願い出により、休学の期間を延長することができる。

４　休学の期間は、通算して２年をこえることができない。ただし、休学の理由が、前条第１項の規定によらずに、外国の大学で学修するためであり、かつ、学長が教育研究上有益であると認める場合に限り、通算して４年以内で休学期間の延長を認めることがある。

５　前４項に定めるもののほか、休学に関し必要な事項は、別に定める。

（復学）

第２６条　休学中の学生は、休学の理由が消滅したときは、学長の許可を得て復学することができる。

（退学）

第２７条　退学しようとする学生は、学長の許可を受けなければならない。

（除籍）

第２８条　学長は、次の各号の一つに該当する学生を除籍する。

⑴　授業料等の納付を怠り、督促しても納付しない者

⑵　在学年限を超えた者

⑶　休学の期間満了後も修学することができない者

⑷　疾病その他の理由により成業の見込みがないと認められる者

⑸　死亡又は行方不明の者

（入学等の許可）

第２９条　この節に定める入学、再入学、転入学、編入学、他の学校への転学又は入学、留学、休学、復学、退学に関する学長の許可は、教授会の議を経て行う。

第４節　授業

（授業の方法）

第３０条　授業の方法は、講義、演習、実習及び実技とする。

（単位制及び単位の計算方法）

第３１条　授業科目の履修は、単位制によるものとし、単位数は、次の各号に掲げる基準により計算する。

⑴　講義については、１５時間の講義をもって１単位とする。

⑵　演習については、３０時間の演習をもって１単位とする。

⑶　実習及び実技については、美術学部にあっては４５時間、音楽学部にあっては３０時間の実習又は実技をもって１単位とする。ただし、音楽学部における個人指導による実技については、５時間以上で別に定める時間の実技をもって１単位とする。

（授業科目及びその単位数）

第３２条　学部において開設する授業科目及びその単位数は、美術学部にあっては別表第２、音楽学部にあっては別表第３のとおりとする。

２　前項に定めるもののほか、学部において、教育職員免許法に規定する教員の免許状

（以下「教員の免許状」という。）の授与を受けるために修得することを必要とする授業科目（以下「教職課程科目」という。）及び博物館法に規定する学芸員の資格を取得するために修得することを必要とする授業科目（以下「博物館学課程科目」という。）を開設する。

３　学部において開設する教職課程科目及びその単位数は、美術学部にあっては別表第４、音楽学部にあっては別表第５のとおりとする。

４　学部において開設する博物館学課程科目及びその単位数は、別表第６のとおりとする。

（授業科目の履修方法）

第３３条　授業科目の履修方法は、別に定める。

（単位の授与等）

第３４条　学長は、授業科目を履修した学生に対しては、その旨を認定したうえ、単位を与える。

２　授業科目の履修の認定は、試験等によるものとし、その方法は、別に定める。

３　入学、再入学、転入学又は編入学前に履修した授業科目及び修得した単位の認定については、別に定める。

（単位互換協定に基づき他の大学において修得した単位の認定）

第３５条　他の大学における授業科目の履修に係る単位の修得について定めた大学間の協定（以下「単位互換協定」という。）に基づき、学生が他の大学において履修した授業科目について当該大学において修得した単位は、別に定める単位数を限度として、本学において修得したものとみなす。

## 第５節　卒業及び学位

（卒業）

第３６条　学長は、学生が第１５条の修業年限を終え、別に定める授業科目を履修し、かつ、次の各号に掲げる単位を修得したときは、教授会の議を経て、卒業を認定するものとする。

⑴　美術学部

ア　美術科　１２４単位以上

イ　デザイン科、工芸科及び総合芸術学科　１２６単位以上

⑵　音楽学部　音楽学科　　１２４単位以上

２　学長は、前項の規定により卒業を認定した学生に対し、卒業証書を授与する。

（学位の授与）

第３７条　学部を卒業した者に対しては、別に定めるところにより学士の学位を授与する。

第６節　委託生、科目等履修生、単位互換履修生、聴講生及び外国人留学生

（委託生）

第３８条　学長は、学部において研修することについて、国、地方公共団体又は他の教育機関から委託された者（外国人を除く。）があるときは、学部における教育及び研究に支障のない場合に限り、選考のうえ、委託生として入学を許可することができる。

（科目等履修生）

第３９条　学長は、学部において特定の授業科目を履修し、単位を修得することを志願する者があるときは、学部における教育及び研究に支障がない場合に限り、選考のうえ、科目等履修生として入学を許可することができる。

（単位互換履修生）

第４０条　学長は、単位互換協定に基づき、学部において特定の授業科目を履修し、単位を修得することを志願する他の大学の学生があるときは、選考のうえ、単位互換履修生として入学を許可することができる。

（聴講生）

第４１条　学長は、学部において特定の授業科目を聴講することを志願する者があるときは、学部における教育及び研究に支障のない場合に限り、選考のうえ、聴講生として入学を許可することができる。

（外国人留学生）

第４２条　学長は、学部において研修することについて、国、地方公共団体若しくは他の教育機関から委託された外国人又は学部において教育を受ける目的で入国し、学部に入学を志願する外国人があるときは、選考のうえ、外国人留学生として入学を許可することができる。

（委任）

第４３条　この節に定めるもののほか、委託生、科目等履修生、単位互換履修生、聴講

生及び外国人留学生に関し必要な事項は、別に定める。

第７節　賞罰

（表彰）

第４４条　学長は、学生として表彰に値する行為があった者を教授会及び教育研究審議会の議を経て表彰することができる。

（懲戒）

第４５条　学長は、教育上必要があると認めるときは、学生に対し、教授会及び教育研究審議会の議を経て懲戒することができる。

２　懲戒の種類は、退学、停学及び訓告とする。

３　前項の退学は、次の各号の一つに該当する学生に対して行うことができる。

⑴　性行不良で改善の見込みがないと認められる者

⑵　学力劣等で成業の見込みがないと認められる者

⑶　正当な理由がなくて出席が正常でない者

⑷　その他この規則若しくはこれに基づく定め若しくは処分に違反し、又は学生としての本分に反する行為があると認められる者

第８節　教員の免許状

（教員の免許状）

第４６条　教育職員免許法別表第１に掲げる基礎資格を有し、かつ、学部において同表に掲げる単位を修得した者が受けることができる教員の免許状の種類は、別表第７のとおりである。

第３章 研究機関

（日本伝統音楽研究センター）

第４７条　伝音センターに、伝音センターの教育研究及び運営に関する重要な事項を審議するため、教授会を置く。

２　教授会は、日本伝統音楽研究センター所長（以下「伝音センター所長」という。）並びに伝音センターの教授、准教授及び講師をもって組織する。

３　教授会は、前項に規定するもののほか、学長等がつかさどる教育研究に関する次に

掲げる事項について審議し、学長に意見を述べるものとする。

⑴　伝音センターの教育研究についての教員の業績審査及び法人が自ら行う点検及び評価に関する事項

⑵　前号に掲げるもののほか、教育研究に関する重要な事項で、運営委員会の意見を聴くことが必要なものとして学長が定めるもの

４　教授会は、次に掲げる事項について審議し、及び学長等からの求めに応じ、学長等に意見を述べるものとする。

⑴　中期目標について市長に述べる意見及び年度計画の策定に関する事項のうち、教育研究に関するもの

⑵　法により市長の認可又は承認を受けなければならない事項のうち、教育研究に関するもの

⑶　教育研究に関する予算の提案に関する事項

⑷　大学、伝音センターその他の重要な組織の設置又は廃止に関する事項のうち、教育研究に関するもの

⑸　学則（法人の経営に関する部分を除く。）その他の教育研究に関する重要な法人の規程の制定又は改廃に関する事項

⑹　学長から伝音センター所長に付議された教員の人事に関する事項

⑺　伝音センター所長及び伝音センターから選出する教育研究審議会委員等の候補者の選出に関する事項

⑻　前各号に掲げるもののほか、教育研究に関する重要事項

５　前各項に定めるもののほか、教授会に関し必要な事項は、別に定める。

（芸術資源研究センター）

第４８条　芸資研に、芸資研の教育研究及び運営に関する重要な事項を審議するため、運営委員会を置く。

２　運営委員会は、芸術資源研究センター所長（以下「芸資研所長」という。）並びに専任研究員等をもって組織する。

３　運営委員会は、次に掲げる事項について審議し、学長に意見を述べるものとする。

⑴　芸資研の教育研究についての専任研究員の業績審査及び法人が自ら行う点検及び評価に関する事項

⑵　前号に掲げるもののほか、教育研究に関する重要な事項で、運営委員会の意見を

聴くことが必要なものとして学長が定めるもの

４　運営委員会は、前項に規定するもののほか、学長等がつかさどる教育研究に関する次に掲げる事項について審議し、及び学長等の求めに応じ、意見を述べることができる。

⑴　中期目標について市長に述べる意見及び年度計画の策定に関する事項のうち、教育研究に関するもの

⑵　法により市長の認可又は承認を受けなければならない事項のうち、教育研究に関するもの

⑶　教育研究に関する予算の提案に関する事項

⑷　大学、芸資研その他の重要な組織の設置又は廃止に関する事項のうち、教育研究に関するもの

⑸　学則（法人の経営に関する部分を除く。）その他の教育研究に関する重要な法人の規程の制定又は改廃に関する事項

⑹　学長から芸資研所長に付議された専任研究員等の人事に関する事項

⑺　芸資研所長、芸資研副所長及び芸資研から選出する教育研究審議会委員等の候補者の選出に関する事項

⑻　前各号に掲げるもののほか、教育研究に関する重要事項

５　前各項に定めるもののほか、運営委員会に関し必要な事項は、別に定める。

## 第４章　雑則

### 第１節　公開講座

（公開講座）

第４９条　本学は、市民の教養及び文化の向上に資するため、公開講座を設けることができる。

２　公開講座に関し必要な事項は、別に定める。

### 第２節　展覧会

（展覧会）

第５０条　本学は、適宜展覧会を実施する。

２　展覧会に関し必要な事項は、別に定める。

第３節　演奏会

（演奏会）

第５１条　本学は、適宜演奏会を実施する。

２　演奏会に関し必要な事項は、別に定める。

第４節　補則

（改正等）

第５２条　この規則及びこの規則において別に定めることとされている事項に係る重要な規程の制定又は改廃は、法人の経営に関する部分については経営審議会の審議及び理事会の議決、それ以外は教授会または運営委員会及び教育研究審議会の審議並びに理事会の議決を経て、学長が行う。

（施行細則）

第５３条　この規則において別に定めることとされている事項及びこの規則の施行に関し必要な事項は、学長が定める。

附　則

この規則は、平成２４年４月１日から施行する。

附　則

この規則は、平成２６年３月１１日から施行する。

附　則

この規則は、平成２６年４月１日から施行する。

附　則

この規則は、平成２７年３月３１日から施行する。

附　則

この規則は、平成２８年１月１日から施行する。

附　則

この規則は、平成２８年４月１日から施行する。

附　則

この規則は、平成３０年３月２９日から施行する。

附　則

この規則は、平成３１年３月１日から施行する。

附　則

この規則は、令和２年３月２３日から施行する。

附　則

この規則は、令和３年４月１日から施行する。

附　則

この規則は、令和３年８月３０日から施行する。

附　則

１　この規則は、令和４年４月１日から施行する。

２　第９条関係の別表第１については、令和５年度入学生から適用し、令和４年度以前に入学した者については、なお従前の例による。

附　則

この規則は、令和４年１０月１日から施行する。

附　則

この規則は、令和５年４月１日から施行する。

附　則

この規則は、令和７年７月１日から施行する。

附　則

この規則は、令和８年４月１日から施行する。

附　則

この規則は、令和８年１１月１日から施行する。

別表第１（第９条関係）

| 学　部 | 学　科 | 専　攻 | 入学定員 | 収容定員 |
|---|---|---|---|---|
| 美術学部 | 美術科 | 日本画専攻 | 人 | 人 |
| | | 油画専攻 | | |
| | | 彫刻専攻 | ７０ | ２８０ |
| | | 版画専攻 | | |
| | | 構想設計専攻 | | |
| | デザイン科 | 総合デザイン専攻 | ３０ | １２０ |
| | | デザインＢ専攻 | | |
| | 工芸科 | 陶磁器専攻 | ３０ | １２０ |
| | | 漆工専攻 | | |
| | | 染織専攻 | | |
| | 総合芸術学科 | 総合芸術学専攻 | ５ | ２０ |
| | 計 | | １３５ | ５４０ |
| 音楽学部 | 音楽学科 | 作曲専攻 | ６５ | ２６０ |
| | | 指揮専攻 | | |
| | | ピアノ専攻 | | |
| | | 弦楽専攻 | | |
| | | 管・打楽専攻 | | |
| | | 声楽専攻 | | |
| | | 音楽学専攻 | | |
| | 計 | | ６５ | ２６０ |
| 合　計 | | | ２００ | ８００ |

別表第２（第３２条関係）

| 区　　分 | 授　　業　　科　　目 | 単位数 |
|---|---|---|
| 講義 | 哲学１ | 2 |
| | 哲学２ | 2 |
| | 人間学 | 2 |
| | 歴史学１ | 2 |
| | 歴史学２ | 2 |
| | 文学概論 | 2 |
| | 美学 | 2 |
| | 社会学１ | 2 |
| | 社会学２ | 2 |
| | 宇宙の物理１ | 2 |
| | 宇宙の物理２ | 2 |
| | 現代物理１ | 2 |
| | 現代物理２ | 2 |
| | 化学１ | 2 |
| | 化学２ | 2 |
| | 現代生物学１ | 2 |
| | 現代生物学２ | 2 |
| | 造形心理学１ | 2 |
| | 造形心理学２ | 2 |
| | 芸術学概論 | 2 |
| | 工芸概説 | 2 |
| | 日本美術史概説 | 2 |
| | 東洋美術史概説１ | 2 |
| | 東洋美術史概説２ | 2 |
| | 西洋美術史概説１ | 2 |
| | 西洋美術史概説２ | 2 |
| | デザイン史概説 | 2 |
| | 哲学特論１ | 2 |
| | 哲学特論２ | 2 |
| | 現代思想１ | 2 |
| | 現代思想２ | 2 |
| | 考古学 | 2 |
| | 文化人類学 | 2 |
| | 比較文芸論 | 2 |
| | 原典資料研究１ | 2 |
| | 原典資料研究２ | 2 |
| | 身体と文化 | 2 |
| | 音楽学１ | 2 |
| | 音楽学２ | 2 |
| | コミュニケーション論 | 2 |
| | 都市計画論 | 2 |

| | | |
|---|---|---|
| | 環境設計論 | 2 |
| | 映像論１ | 2 |
| | 映像論２ | 2 |
| | 造園学１ | 2 |
| | 造園学２ | 2 |
| | アートマネージメント論 | 2 |
| | 造形計画１−B | 2 |
| | 造形計画２−A | 2 |
| | 造形計画２−B | 2 |
| | 情報科学１ | 2 |
| | クリエイターのための知的財産入門 | 2 |
| | 情報科学２ | 2 |
| | 数学の世界１ | 2 |
| | 数学の世界２ | 2 |
| | 現代の科学技術 | 2 |
| | 実験心理学１ | 2 |
| | 実験心理学２ | 2 |
| | 図学１ | 2 |
| | 図学２ | 2 |
| | 材料の科学 | 2 |
| | 材料学１ | 2 |
| | 材料学２ | 2 |
| | 材料学３ | 2 |
| | 材料学４ | 2 |
| | 材料学５ | 2 |
| | 材料学６ | 2 |
| | 美術解剖学 | 2 |
| | 製陶法１ | 2 |
| | 製陶法２ | 2 |
| | 塗料塗装法１ | 2 |
| | 塗料塗装法２ | 2 |
| | 人間工学 | 2 |
| | 印刷工学 | 2 |
| | メカニズム論 | 2 |
| | 色染学 | 2 |
| | 染織工芸材料学 | 2 |
| | 構造力学 | 2 |
| | 建築法規 | 2 |
| | 保存科学入門 | 2 |
| | 芸術学１ | 2 |
| | 芸術学２ | 2 |
| | 現代芸術論１ | 2 |
| | 現代芸術論２ | 2 |

| | | |
|---|---|---|
| | 現代芸術論３ | ２ |
| | 現代芸術論４ | ２ |
| | デザイン論 | ２ |
| | 日本美術史（絵画）１ | ２ |
| | 日本美術史（絵画）２ | ２ |
| | 日本美術史（絵画）３ | ２ |
| | 日本美術史（彫刻）１ | ２ |
| | 日本美術史（彫刻）２ | ２ |
| | 東洋美術史１ | ２ |
| | 東洋美術史２ | ２ |
| | 西洋美術史１ | ２ |
| | 西洋美術史２ | ２ |
| | 彫刻史１ | ２ |
| | 彫刻史２ | ２ |
| | 美術史特講１ | ２ |
| | 美術史特講２ | ２ |
| | デザイン史特論 | ２ |
| | 色彩学 | ２ |
| | 陶磁器工芸史１ | ２ |
| | 陶磁器工芸史２ | ２ |
| | 染織工芸史１ | ２ |
| | 染織工芸史２ | ２ |
| | 漆工史１ | ２ |
| | 漆工史２ | ２ |
| | 建築史１ | ２ |
| | 建築史２ | ２ |
| | 現代美術批評１ | ２ |
| | 現代美術批評２ | ２ |
| | 保健体育講義 | ２ |
| | 日本国憲法 | ２ |
| | 人権教育論 | ２ |
| | 情報処理基礎 | ２ |
| | 原典資料研究 | ２ |
| | 健康科学 | ２ |
| | 社会科学の方法論１ | ２ |
| | 社会科学の方法論２ | ２ |
| | 社会科学の方法論 | ２ |
| | 社会科学特講 | ２ |
| | 心理学 | ２ |
| | ダイバーシティとインクルージョン | ２ |
| | 宇宙の科学 | ２ |
| | 物理の世界 | ２ |
| | プログラミング入門 | ２ |

| | | |
|---|---|---|
| | 数学の世界 | 2 |
| | 造形心理学 | 2 |
| | 実験心理学 | 2 |
| | 数理社会分析１ | 2 |
| | 数理社会分析２ | 2 |
| | 日本美術史（彫刻） | 2 |
| | 身体科学 | 2 |
| | 日本絵画史概説 | 2 |
| | 日本彫刻史概説 | 2 |
| | 東洋美術史概説Ⅰ | 2 |
| | 東洋美術史概説Ⅱ | 2 |
| | 西洋美術史概説Ⅰ | 2 |
| | 西洋美術史概説Ⅱ | 2 |
| | 音楽文化論Ⅰ | 2 |
| | 音楽文化論Ⅱ | 2 |
| | 音楽文化論Ⅲ | 2 |
| | 演劇学 | 2 |
| | 文芸学 | 2 |
| | ことばの科学入門 | 2 |
| | 歴史学 | 2 |
| | 地域文化史Ⅰ | 2 |
| | 地域文化史Ⅱ | 2 |
| | 地域文化史Ⅲ | 2 |
| | 地域文化史Ⅳ | 2 |
| | 哲学Ⅰ | 2 |
| | 哲学Ⅱ | 2 |
| | 現代思想Ⅰ | 2 |
| | 現代思想Ⅱ | 2 |
| | 宇宙と物質の科学 | 2 |
| | 情報科学 | 2 |
| | 環境科学 | 2 |
| | 科学技術と社会 | 2 |
| | 化学Ⅰ | 2 |
| | 化学Ⅱ | 2 |
| | 生物学Ⅰ | 2 |
| | 生物学Ⅱ | 2 |
| | 心理学Ⅰ | 2 |
| | 心理学Ⅱ | 2 |
| | メディア学 | 2 |
| | 環境生態学 | 2 |
| | 芸大生のための法律・ソーシャルメディア入門 | 2 |
| | 経済学Ⅰ | 2 |
| | 経済学Ⅱ | 2 |

| | | |
|---|---|---|
| | 社会学Ⅰ | 2 |
| | 社会学Ⅱ | 2 |
| | 社会学Ⅲ | 2 |
| | 文化人類学Ⅰ | 2 |
| | 文化人類学Ⅱ | 2 |
| | 異文化理解と実践入門 | 2 |
| 演習 | 日本美術史演習１ | 2 |
| | 日本美術史演習２ | 2 |
| | 造形計画１－Ａ | 2 |
| | テーマ演習　　１ | 2 |
| | テーマ演習　　２ | 2 |
| | テーマ演習　　３ | 2 |
| | テーマ演習　　４ | 2 |
| | テーマ演習　　５ | 2 |
| | テーマ演習　　６ | 2 |
| | テーマ演習　　７ | 2 |
| | テーマ演習　　８ | 2 |
| | テーマ演習　　９ | 2 |
| | テーマ演習　１０ | 2 |
| | テーマ演習　１１ | 2 |
| | テーマ演習　１２ | 2 |
| | テーマ演習　１３ | 2 |
| | テーマ演習　１４ | 2 |
| | テーマ演習　１５ | 2 |
| | テーマ演習　１６ | 2 |
| | テーマ演習　１７ | 2 |
| | テーマ演習　１８ | 2 |
| | テーマ演習　１９ | 2 |
| | テーマ演習　２０ | 2 |
| | テーマ演習　２１ | 2 |
| | テーマ演習　２２ | 2 |
| | テーマ演習　２３ | 2 |
| | テーマ演習　２４ | 2 |
| | テーマ演習　２５ | 2 |
| | コンピュータ演習Ａ－１<br>（絵画･映像メディア表現を含む） | 1 |
| | コンピュータ演習Ａ－１<br>（デザイン･映像メディア表現を含む） | 1 |
| | コンピュータ演習Ｂ－１<br>（絵画･映像メディア表現を含む） | 1 |
| | コンピュータ演習Ｂ－１<br>（デザイン･映像メディア表現を含む） | 1 |

| | | |
|---|---|---|
| | コンピュータ演習２－Ａ<br>（絵画･映像メディア表現を含む） | 1 |
| | コンピュータ演習２－Ａ<br>（デザイン･映像メディア表現を含む） | 1 |
| | コンピュータ演習２－Ｂ<br>（絵画･映像メディア表現を含む） | 1 |
| | コンピュータ演習２－Ｂ<br>（デザイン･映像メディア表現を含む） | 1 |
| | コンピュータ演習３－Ａ<br>（絵画･映像メディア表現を含む） | 1 |
| | コンピュータ演習３－Ａ<br>（デザイン･映像メディア表現を含む） | 1 |
| | コンピュータ演習３－Ｂ<br>（絵画･映像メディア表現を含む） | 1 |
| | コンピュータ演習３－Ｂ<br>（デザイン･映像メディア表現を含む） | 1 |
| | コンピュータ演習３－Ｃ<br>（絵画･映像メディア表現を含む） | 1 |
| | コンピュータ演習３－Ｃ<br>（デザイン･映像メディア表現を含む） | 1 |
| | コンピュータ演習Ｄ | 2 |
| | コンピュータ演習Ｅ | 2 |
| | 英語ＡＥ１－Ａ１ | 2 |
| | 英語ＡＥ１－Ａ２ | 2 |
| | 英語ＡＥ１－Ａ３ | 2 |
| | 英語ＡＥ１－Ｂ１ | 2 |
| | 英語ＡＥ１－Ｂ２ | 2 |
| | 英語ＡＥ１－Ｂ３ | 2 |
| | 英語ＡＥ２－Ａ１ | 1 |
| | 英語ＡＥ２－Ａ２ | 1 |
| | 英語ＡＥ２－Ｂ１ | 1 |
| | 英語ＡＥ２－Ｂ２ | 1 |
| | 英語ＩＥＣ－Ａ１ | 1 |
| | 英語ＩＥＣ－Ａ２ | 1 |
| | 英語ＩＥＣ－Ｂ１ | 1 |
| | 英語ＩＥＣ－Ｂ２ | 1 |
| | 英語ＩＥＷ－Ａ１ | 1 |
| | 英語ＩＥＷ－Ａ２ | 1 |
| | 英語ＩＥＷ－Ｂ１ | 1 |
| | 英語ＩＥＷ－Ｂ２ | 1 |
| | フランス語（初級）１－Ａ | 2 |
| | フランス語（初級）１－Ｂ | 2 |

| | | |
|---|---|---|
| | フランス語（初級）２－A | 2 |
| | フランス語（初級）２－B | 2 |
| | フランス語（中・上級）A | 2 |
| | フランス語（中・上級）B | 2 |
| | ドイツ語（初級）A | 2 |
| | ドイツ語（初級）B | 2 |
| | ドイツ語（中級）A | 2 |
| | ドイツ語（中級）B | 2 |
| | 体育１－A | 1 |
| | 体育１－B | 1 |
| | 体育１－C | 1 |
| | 体育１－D | 1 |
| | 体育１－E | 1 |
| | 体育１－F | 1 |
| | 体育１－G | 1 |
| | 体育１－H | 1 |
| | 体育１－J | 1 |
| | 体育１－K | 1 |
| | 体育２－a | 1 |
| | 体育２－b | 1 |
| | 専門書講読（英語） | 2 |
| | 専門書講読（フランス語） | 2 |
| | 専門書講読（ドイツ語） | 2 |
| | 専門書講読（古文書・古筆） | 2 |
| | ゼミ演習１A | 4 |
| | ゼミ演習１B | 4 |
| | ゼミ演習２A | 4 |
| | ゼミ演習２B | 4 |
| | ゼミ演習３A | 4 |
| | ゼミ演習３B | 4 |
| | 合同演習A | 2 |
| | 合同演習B | 2 |
| | 総合芸術学科基礎１ | 2 |
| | 総合芸術学科基礎２ | 2 |
| | 調査研究基礎講義１ | 2 |
| | 企画運営基礎演習１ | 2 |
| | 企画運営基礎演習２ | 2 |
| | 編集発信基礎演習 | 2 |
| | 調査研究応用A－１ | 4 |
| | 調査研究応用A－２ | 4 |
| | 調査研究応用A－３ | 4 |
| | 調査研究応用B－１ | 4 |
| | 調査研究応用B－２ | 4 |

| | | | |
|---|---|---|---|
| | 調査研究応用Ｂ－３ | | 4 |
| | 企画運営応用演習Ａ | | 2 |
| | 編集発信応用演習Ａ | | 2 |
| | 企画運営応用演習Ｂ | | 2 |
| | 編集発信応用演習Ｂ | | 2 |
| | 共通基礎 | 総合基礎実技（絵画） | 2 |
| | | 総合基礎実技（彫刻） | 2 |
| | | 総合基礎実技（デザイン） | 2 |
| | | 総合基礎実技（工芸） | 2 |
| | 共通 | プリンティング | 2 |
| | | フォトグラフィ | 2 |
| | | 毛筆画 | 2 |
| | | デッサン | 2 |
| | | テーマ実技 | 2 |
| | 日本画Ａ | | 8 |
| | 日本画Ｂ | | 8 |
| | 油画Ａ | | 8 |
| | 油画Ｂ | | 8 |
| | 彫刻Ａ（デッサン） | | 2 |
| | 彫刻Ａ（彫刻） | | 6 |
| | 彫刻Ｂ（工芸・プロダクト制作を含む） | | 2 |
| | 彫刻Ｂ（彫刻） | | 6 |
| | 版画Ａ（絵画・映像メディア表現を含む。） | | 1 |
| | 版画Ａ（デザイン・映像メディア表現を含む。） | | 1 |
| | 版画Ａ（版画） | | 6 |
| | 版画Ｂ（絵画・映像メディア表現を含む。） | | 1 |
| | 版画Ｂ（デザイン・映像メディア表現を含む。） | | 1 |
| | 版画Ｂ（版画） | | 6 |
| | 構想設計Ａ（絵画・映像メディア表現を含む。） | | 1 |
| | 構想設計Ａ（デザイン・映像メディア表現を含む。） | | 1 |
| | 構想設計Ａ（彫刻） | | 2 |
| | 構想設計Ａ（構想設計） | | 4 |
| | 構想設計Ｂ（絵画・映像メディア表現を含む。） | | 1 |
| | 構想設計Ｂ（デザイン・映像メディア表現を含む。） | | 1 |
| | 構想設計Ｂ（彫刻） | | 2 |
| | 構想設計Ｂ（構想設計） | | 4 |
| | 日本画１ | | 6 |
| | 日本画２ | | 6 |
| | 日本画３ | | 6 |
| | 日本画Ｃ | | 6 |
| | 油画１＋壁画 | | 6 |
| | 油画２ | | 6 |
| | 油画３ | | 6 |

| | | |
|---|---|---|
| | 彫刻１ | 6 |
| | 彫刻２ | 6 |
| | 彫刻３ | 6 |
| | 版画制作 | 6 |
| | 構想設計 | 6 |
| | デザイン基礎（デザイン・映像メディア表現を含む。） | 6 |
| | デザイン基礎（絵画・映像メディア表現を含む。） | 2 |
| | 総合デザイン基礎１（デザイン） | 5 |
| | 総合デザイン基礎１（デッサン） | 1 |
| | 総合デザイン基礎１（工芸・プロダクト制作を含む。） | 1 |
| | 総合デザイン基礎１（製図） | 1 |
| | 総合デザイン基礎２（デザイン） | 5 |
| | 総合デザイン基礎２（デッサン） | 1 |
| | 総合デザイン基礎２（工芸・プロダクト制作を含む。） | 1 |
| | 総合デザイン基礎２（製図） | 1 |
| | デザインＢ（ｘｙｚ－１）（デザイン） | 5 |
| | デザインＢ（ｘｙｚ－１）（デッサン） | 1 |
| | デザインＢ（ｘｙｚ－１）（工芸・プロダクト制作を含む。） | 1 |
| | デザインＢ（ｘｙｚ－１）（製図） | 1 |
| | デザインＢ（ｘｙｚ－２）（デザイン） | 5 |
| | デザインＢ（ｘｙｚ－１）（デッサン） | 1 |
| | デザインＢ（ｘｙｚ－１）（工芸・プロダクト制作を含む。） | 1 |
| | デザインＢ（ｘｙｚ－１）（製図） | 1 |
| | ビジュアル・デザイン１ | 6 |
| | ビジュアル・デザイン２ | 6 |
| | 環境デザイン１ | 6 |
| | 環境デザイン２ | 6 |
| | プロダクト・デザイン１（Ａ） | 2 |
| | プロダクト・デザイン１（Ｂ） | 2 |
| | プロダクト・デザイン１（Ｃ） | 2 |
| | プロダクト・デザイン２（Ａ） | 2 |
| | プロダクト・デザイン２（Ｂ） | 2 |
| | プロダクト・デザイン２（Ｃ） | 2 |
| | 工芸基礎（工芸） | 6 |
| | 工芸基礎（デザイン） | 2 |
| | 陶磁器基礎Ａ（陶磁器） | 6 |
| | 陶磁器基礎Ａ（デッサン） | 1 |
| | 陶磁器基礎Ａ（デザイン） | 1 |
| | 陶磁器基礎Ｂ（陶磁器・プロダクト制作を含む。） | 6 |
| | 陶磁器基礎Ｂ（デッサン） | 1 |
| | 陶磁器基礎Ｂ（デザイン） | 1 |
| | 陶磁器１ | 6 |
| | 陶磁器２ | 6 |

| | | |
|---|---|---|
| | 陶磁器３ | 6 |
| | 漆工基礎Ａ（漆工） | 6 |
| | 漆工基礎Ａ（デッサン） | 1 |
| | 漆工基礎Ａ（デザイン） | 1 |
| | 漆工基礎Ｂ（漆工・プロダクト制作を含む。） | 6 |
| | 漆工基礎Ｂ（デッサン） | 1 |
| | 漆工基礎Ｂ（デザイン） | 1 |
| | 漆工１ | 6 |
| | 漆工２ | 6 |
| | 染織基礎Ａ（染織） | 6 |
| | 染織基礎Ａ（デッサン） | 1 |
| | 染織基礎Ａ（デザイン） | 1 |
| | 染織基礎Ｂ（染織・プロダクト制作含む。） | 6 |
| | 染織基礎Ｂ（デッサン） | 1 |
| | 染織基礎Ｂ（デザイン） | 1 |
| | 染織１ | 6 |
| | 染織２ | 6 |
| | 染織３ | 6 |

別表第３（第３２条関係）

| 区　　分 | 授　　業　　科　　目 | 単位数 |
|---|---|---|
| 講義 | 音楽社会学 | 2 |
| | 西洋音楽史Ⅰ | 2 |
| | 西洋音楽史Ⅱ | 2 |
| | 西洋音楽史Ⅲ | 2 |
| | 音楽心理学 | 2 |
| | 音楽音響学 | 2 |
| | 哲学 | 2 |
| | メディア学 | 2 |
| | 環境生態学 | 2 |
| | 文芸学 | 2 |
| | 演劇学 | 2 |
| | 芸術学 | 2 |
| | 西洋美術史Ⅰ | 2 |
| | 西洋美術史Ⅱ | 2 |
| | 日本美術史 | 2 |
| | 文化人類学 | 2 |
| | 西洋文化史Ⅰ | 2 |
| | 西洋文化史Ⅱ | 2 |
| | 日本文化史Ⅰ | 2 |
| | 日本文化史Ⅱ | 2 |
| | アジア文化史Ⅰ | 2 |
| | アジア文化史Ⅱ | 2 |
| | 社会学 | 2 |
| | 心理学 | 2 |
| | 法学 | 2 |
| | 日本国憲法 | 2 |
| | 人権教育論 | 2 |
| | 鍵盤楽器総論Ⅰ | 2 |
| | 鍵盤楽器総論Ⅱ | 2 |
| | オペラ総論１ | 2 |
| | オペラ総論２ | 2 |
| | 実験音楽論 | 2 |
| | 民族音楽学Ⅰ | 2 |
| | 民族音楽学Ⅱ | 2 |
| | 音楽音声学 | 2 |
| | 舞台芸術論１ | 2 |
| | 舞台芸術論２ | 2 |
| | 日本音楽史Ⅰ | 2 |
| | 日本音楽史Ⅱ | 2 |
| | 音楽生理学 | 2 |
| | ピアノ演奏法特殊講義 | 2 |
| | 楽器構造論 | 2 |

| | | |
|---|---|---|
| | 調律論 | 2 |
| | 音楽経営論 | 2 |
| | ポピュラー音楽論 | 2 |
| | 音楽療法 | 2 |
| | 音楽科教育法Ⅳ | 2 |
| | 音楽学特講ａ | 2 |
| | 音楽学特講ｂ | 2 |
| | 音楽学特講ｃ | 2 |
| | 音楽学特講ｄ | 2 |
| | 音楽学特講ｅ | 2 |
| | 音楽学特講ｆ | 2 |
| | 音楽学特講ｇ | 2 |
| | 音楽学特講ｈ | 2 |
| | 音楽学特講ｉ | 2 |
| | 音楽学特講ｊ | 2 |
| | 音楽学特講ｋ | 2 |
| | 音楽学特講Ｌ | 2 |
| | 音楽学特講ｍ | 2 |
| | 音楽学特講ｎ | 2 |
| | 音楽学特講 ｏ | 2 |
| | 情報機器の操作 | 2 |
| | 保健（体育）講義１ | 1 |
| | 保健（体育）講義２ | 1 |
| | 入門講座：数学 | 1 |
| | 入門講座：物理 | 1 |
| | ミュージック・ライティングⅠ | 2 |
| | ミュージック・ライティングⅡ | 2 |
| | デザイン史概説 | 2 |
| | デザイン論 | 2 |
| | 美学 | 2 |
| | 日本絵画史概説 | 2 |
| | 日本彫刻史概説 | 2 |
| | 東洋美術史概説Ⅰ | 2 |
| | 東洋美術史概説Ⅱ | 2 |
| | 西洋美術史概説Ⅰ | 2 |
| | 西洋美術史概説Ⅱ | 2 |
| | 音楽文化論Ⅰ | 2 |
| | 音楽文化論Ⅱ | 2 |
| | 音楽文化論Ⅲ | 2 |
| | 文学概論 | 2 |
| | 比較文芸論 | 2 |
| | ことばの科学入門 | 2 |
| | 歴史学 | 2 |
| | 地域文化史Ⅰ | 2 |
| | 地域文化史Ⅱ | 2 |

| | | |
|---|---|---|
| | 地域文化史Ⅲ | 2 |
| | 地域文化史Ⅳ | 2 |
| | 考古学 | 2 |
| | 哲学Ⅰ | 2 |
| | 哲学Ⅱ | 2 |
| | 現代思想Ⅰ | 2 |
| | 現代思想Ⅱ | 2 |
| | 宇宙と物質の化学 | 2 |
| | 情報科学 | 2 |
| | 環境科学 | 2 |
| | 科学技術と社会 | 2 |
| | 化学Ⅰ | 2 |
| | 化学Ⅱ | 2 |
| | 生物学Ⅰ | 2 |
| | 生物学Ⅱ | 2 |
| | 心理学Ⅰ | 2 |
| | 心理学Ⅱ | 2 |
| | 造形心理学 | 2 |
| | 実験心理学 | 2 |
| | 健康科学 | 2 |
| | 身体科学 | 2 |
| | ダイバーシティとインクルージョン | 2 |
| | コミュニケーション論 | 2 |
| | 社会科学の方法論 | 2 |
| | 芸大生のための法律・ソーシャルメディア入門 | 2 |
| | 経済学Ⅰ | 2 |
| | 経済学Ⅱ | 2 |
| | 社会学Ⅰ | 2 |
| | 社会学Ⅱ | 2 |
| | 社会学Ⅲ | 2 |
| | 文化人類学Ⅰ | 2 |
| | 文化人類学Ⅱ | 2 |
| | 異文化理解と実践入門 | 2 |
| 演習 | 和声法初級１ | 1 |
| | 和声法初級２ | 1 |
| | 和声法中級１ | 1 |
| | 和声法中級２ | 1 |
| | 和声法上級１ | 1 |
| | 和声法上級２ | 1 |
| | 楽曲分析１ | 1 |
| | 楽曲分析２ | 1 |
| | 楽曲分析３ | 1 |
| | 楽曲分析４ | 1 |
| | 楽曲分析５ | 1 |
| | 楽曲分析６ | 1 |

| | | |
|---|---|---|
| | 楽曲分析７ | 1 |
| | 楽曲分析８ | 1 |
| | 和声法（指揮）１ | 1 |
| | 和声法（指揮）２ | 1 |
| | 和声法（指揮）３ | 1 |
| | 和声法（指揮）４ | 1 |
| | 作曲法（編曲法を含む） | 1 |
| | ディクションａ１ | 1 |
| | ディクションａ２ | 1 |
| | ディクションｂ１ | 1 |
| | ディクションｂ２ | 1 |
| | ディクションｃ１ | 1 |
| | ディクションｃ２ | 1 |
| | ディクションｄ１ | 1 |
| | ディクションｄ２ | 1 |
| | 楽典分析ａ | 1 |
| | 楽典分析ｂ | 1 |
| | 楽典分析ｃ | 1 |
| | 楽典分析ｄ | 1 |
| | 楽典分析ｅ | 1 |
| | 楽典分析ｆ | 1 |
| | 楽典分析ｇ | 1 |
| | 楽典分析ｈ | 1 |
| | 楽典分析ｉ | 1 |
| | 楽典分析ｊ | 1 |
| | 楽典分析ｋ | 1 |
| | 楽典分析Ｌ | 1 |
| | 対位法１ | 1 |
| | 対位法２ | 1 |
| | 対位法（指揮）１ | 1 |
| | 対位法（指揮）２ | 1 |
| | 対位法（指揮）３ | 1 |
| | 対位法（指揮）４ | 1 |
| | 管弦楽法１ | 1 |
| | 管弦楽法２ | 1 |
| | 作曲特別演習１ | 1 |
| | 作曲特別演習２ | 1 |
| | 作曲特別演習３ | 1 |
| | 作曲特別演習４ | 1 |
| | 音楽学演習ａ | 1 |
| | 音楽学演習ｂ | 1 |
| | 音楽学演習ｃ | 1 |
| | 音楽学演習ｄ | 1 |
| | 音楽学演習ｅ | 1 |
| | 音楽学演習ｆ | 1 |

| | | |
|---|---|---|
| | 音楽学演習ｇ | 1 |
| | 音楽学演習ｈ | 1 |
| | 音楽学演習ｉ | 1 |
| | 音楽学特別演習１ | 1 |
| | 音楽学特別演習２ | 1 |
| | 音楽学特別演習３ | 1 |
| | 音楽学特別演習４ | 1 |
| | 卒業論文 | 4 |
| | バレエ１ | 1 |
| | バレエ２ | 1 |
| | 楽書講読（英語）１ | 1 |
| | 楽書講読（英語）２ | 1 |
| | 楽書講読（仏語）１ | 1 |
| | 楽書講読（仏語）２ | 1 |
| | 楽書講読（独語）１ | 1 |
| | 楽書講読（独語）２ | 1 |
| | 楽書講読（伊語）１ | 1 |
| | 楽書講読（伊語）２ | 1 |
| | 英語Ａ１［平成２９年度以前入学生：英語１］ | 2 |
| | 英語Ａ２［平成２９年度以前入学生：英語２］ | 2 |
| | 英語Ｂ１ | 1 |
| | 英語Ｂ２ | 1 |
| | 英語（会話）１［平成２９年度以前入学生：英語３］ | 1 |
| | 英語（会話）２［平成２９年度以前入学生：英語４］ | 1 |
| | 英語（作文）１［平成２９年度以前入学生：英語５］ | 1 |
| | 英語（作文）２［平成２９年度以前入学生：英語６］ | 1 |
| | 実践英語（留学）１［平成２９年度以前入学生：英語７］ | 1 |
| | 実践英語（留学）２［平成２９年度以前入学生：英語８］ | 1 |
| | フランス語１ | 2 |
| | フランス語２ | 2 |
| | フランス語３ | 1 |
| | フランス語４ | 1 |
| | フランス語５ | 1 |
| | フランス語６ | 1 |
| | フランス語７ | 1 |
| | フランス語８ | 1 |
| | ドイツ語１ | 2 |
| | ドイツ語２ | 2 |
| | ドイツ語３ | 1 |
| | ドイツ語４ | 1 |
| | ドイツ語５ | 1 |
| | ドイツ語６ | 1 |
| | ドイツ語７ | 1 |
| | ドイツ語８ | 1 |
| | イタリア語１ | 2 |

| | | |
|---|---|---|
| | イタリア語２ | 2 |
| | イタリア語３ | 1 |
| | イタリア語４ | 1 |
| | イタリア語５ | 1 |
| | イタリア語６ | 1 |
| | イタリア語７ | 1 |
| | イタリア語８ | 1 |
| | 原典研究（英語）Ⅰ | 1 |
| | 原典研究（英語）Ⅱ | 1 |
| | 原典研究（独語）Ⅰ | 1 |
| | 原典研究（独語）Ⅱ | 1 |
| | 原典研究（仏語）Ⅰ | 1 |
| | 原典研究（仏語）Ⅱ | 1 |
| | 総合演習Ⅰ | 2 |
| | キャリアデザイン演習 | 1 |
| 実習及び実技 | ソルフェージュ１ | 1 |
| | ソルフェージュ２ | 1 |
| | ソルフェージュ３ | 1 |
| | ソルフェージュ４ | 1 |
| | 合唱１ | 1 |
| | 合唱２ | 1 |
| | 合唱３ | 1 |
| | 合唱４ | 1 |
| | 管・弦・打楽（副科）１ | 1 |
| | 管・弦・打楽（副科）２ | 1 |
| | 管・弦・打楽（副科）３ | 1 |
| | 管・弦・打楽（副科）４ | 1 |
| | ピアノ（副科）１ | 1 |
| | ピアノ（副科）２ | 1 |
| | ピアノ（副科）３（伴奏を含む）［令和３年度以前入学生：ピアノ（副科）３］ | 1 |
| | ピアノ（副科）４（伴奏を含む）［令和３年度以前入学生：ピアノ（副科）４］ | 1 |
| | オーケストラ１ | 2 |
| | オーケストラ２ | 2 |
| | オーケストラ３ | 2 |
| | オーケストラ４ | 2 |
| | オーケストラ５ | 2 |
| | オーケストラ６ | 2 |
| | オーケストラ７ | 2 |
| | オーケストラ８ | 2 |
| | サクソフォンアンサンブル１ | 1 |
| | サクソフォンアンサンブル２ | 1 |
| | サクソフォンアンサンブル３ | 1 |
| | サクソフォンアンサンブル４ | 1 |

| | | |
|---|---|---|
| | サクソフォンアンサンブル５ | 1 |
| | サクソフォンアンサンブル６ | 1 |
| | サクソフォンアンサンブル７ | 1 |
| | サクソフォンアンサンブル８ | 1 |
| | ユーフォニアム・チューバアンサンブル１ | 1 |
| | ユーフォニアム・チューバアンサンブル２ | 1 |
| | ユーフォニアム・チューバアンサンブル３ | 1 |
| | ユーフォニアム・チューバアンサンブル４ | 1 |
| | ユーフォニアム・チューバアンサンブル５ | 1 |
| | ユーフォニアム・チューバアンサンブル６ | 1 |
| | ユーフォニアム・チューバアンサンブル７ | 1 |
| | ユーフォニアム・チューバアンサンブル８ | 1 |
| | 作曲Ⅰ１ | 3 |
| | 作曲Ⅰ２ | 3 |
| | 作曲Ⅰ３ | 3 |
| | 作曲Ⅰ４ | 3 |
| | 作曲Ⅰ５ | 3 |
| | 作曲Ⅰ６ | 3 |
| | 作曲Ⅰ７ | 3 |
| | 作曲Ⅰ８ | 3 |
| | 作曲Ⅱ１ | 2 |
| | 作曲Ⅱ２ | 2 |
| | 作曲Ⅱ３ | 2 |
| | 作曲Ⅱ４ | 2 |
| | 作曲Ⅱ５ | 2 |
| | 作曲Ⅱ６ | 2 |
| | 作曲Ⅱ７ | 2 |
| | 作曲Ⅱ８ | 2 |
| | 総譜視奏（作曲）１ | 1 |
| | 総譜視奏（作曲）２ | 1 |
| | 指揮１ | 3 |
| | 指揮２ | 3 |
| | 指揮３ | 3 |
| | 指揮４ | 3 |
| | 指揮５ | 3 |
| | 指揮６ | 3 |
| | 指揮７ | 3 |
| | 指揮８ | 3 |
| | 総譜視奏１ | 1 |
| | 総譜視奏２ | 1 |
| | 総譜視奏３ | 1 |
| | 総譜視奏４ | 1 |
| | 総譜視奏５ | 1 |
| | 総譜視奏６ | 1 |
| | 総譜視奏７ | 1 |

| | | |
|---|---|---|
| | 総譜視奏８ | 1 |
| | オーケストラ実習１ | 1 |
| | オーケストラ実習２ | 1 |
| | オーケストラ実習３ | 1 |
| | オーケストラ実習４ | 1 |
| | オーケストラ実習５ | 1 |
| | オーケストラ実習６ | 1 |
| | オーケストラ実習７ | 1 |
| | オーケストラ実習８ | 1 |
| | ピアノ１ | 3 |
| | ピアノ２ | 3 |
| | ピアノ３ | 3 |
| | ピアノ４ | 3 |
| | ピアノ５ | 3 |
| | ピアノ６ | 3 |
| | ピアノ７ | 3 |
| | ピアノ８ | 3 |
| | ピアノ重奏１ | 1 |
| | ピアノ重奏２ | 1 |
| | ピアノ重奏３ | 1 |
| | ピアノ重奏４ | 1 |
| | ピアノ伴奏法１ | 1 |
| | ピアノ伴奏法２ | 1 |
| | ピアノ伴奏法３ | 1 |
| | ピアノ伴奏法４ | 1 |
| | ピアノ伴奏法５ | 1 |
| | ピアノ伴奏法６ | 1 |
| | ピアノ伴奏法７ | 1 |
| | ピアノ伴奏法８ | 1 |
| | ピアノ公開演奏 | 2 |
| | 弦楽１ | 3 |
| | 弦楽２ | 3 |
| | 弦楽３ | 3 |
| | 弦楽４ | 3 |
| | 弦楽５ | 3 |
| | 弦楽６ | 3 |
| | 弦楽７ | 3 |
| | 弦楽８ | 3 |
| | 弦楽合奏１ | 1 |
| | 弦楽合奏２ | 1 |
| | 弦楽合奏３ | 1 |
| | 弦楽合奏４ | 1 |
| | 弦楽合奏５ | 1 |
| | 弦楽合奏６ | 1 |
| | 弦楽合奏７ | 1 |

| | | |
|---|---|---|
| | 弦楽合奏８ | 1 |
| | ヴィオラ（副科）１ | 1 |
| | ヴィオラ（副科）２ | 1 |
| | 管・打楽１ | 3 |
| | 管・打楽２ | 3 |
| | 管・打楽３ | 3 |
| | 管・打楽４ | 3 |
| | 管・打楽５ | 3 |
| | 管・打楽６ | 3 |
| | 管・打楽７ | 3 |
| | 管・打楽８ | 3 |
| | 管・打楽合奏１ | 1 |
| | 管・打楽合奏２ | 1 |
| | 管・打楽合奏３ | 1 |
| | 管・打楽合奏４ | 1 |
| | 管・打楽合奏５ | 1 |
| | 管・打楽合奏６ | 1 |
| | 管・打楽合奏７ | 1 |
| | 管・打楽合奏８ | 1 |
| | 声楽１ | 3 |
| | 声楽２ | 3 |
| | 声楽３ | 3 |
| | 声楽４ | 3 |
| | 声楽５ | 3 |
| | 声楽６ | 3 |
| | 声楽７ | 3 |
| | 声楽８ | 3 |
| | 合唱５ | 1 |
| | 合唱６ | 1 |
| | 合唱７ | 1 |
| | 合唱８ | 1 |
| | 重唱１ | 1 |
| | 重唱２ | 1 |
| | 重唱３ | 1 |
| | 重唱４ | 1 |
| | 管・弦・打楽（副科）５ | 1 |
| | 管・弦・打楽（副科）６ | 1 |
| | 管・弦・打楽（副科）７ | 1 |
| | 管・弦・打楽（副科）８ | 1 |
| | 室内楽１ | 1 |
| | 室内楽２ | 1 |
| | 室内楽３ | 1 |
| | 室内楽４ | 1 |
| | 室内楽５ | 1 |
| | 室内楽６ | 1 |

| | | |
|---|---|---|
| | 器楽合奏１ | 1 |
| | 器楽合奏２ | 1 |
| | ピアノ（副科）５［令和３年度以前入学生：ピアノ（副科）５（伴奏を含む）］ | 1 |
| | ピアノ（副科）６［令和３年度以前入学生：ピアノ（副科）６（伴奏を含む）］ | 1 |
| | ピアノ（副科）７ | 1 |
| | ピアノ（副科）８ | 1 |
| | ヴィオラ（副科）３ | 1 |
| | ヴィオラ（副科）４ | 1 |
| | ヴィオラ（副科）５ | 1 |
| | ヴィオラ（副科）６ | 1 |
| | オペラ実習１ | 1 |
| | オペラ実習２ | 1 |
| | オペラ実習３ | 1 |
| | オペラ実習４ | 1 |
| | 指揮法（副科）１ | 1 |
| | 指揮法（副科）２ | 1 |
| | チェンバロ（副科）１ | 1 |
| | チェンバロ（副科）２ | 1 |
| | チェンバロ（副科）３ | 1 |
| | チェンバロ（副科）４ | 1 |
| | 声楽（副科）１ | 1 |
| | 声楽（副科）２ | 1 |
| | 声楽（副科）３ | 1 |
| | 声楽（副科）４ | 1 |
| | 体育Ⅰ１ | 1 |
| | 体育Ⅰ２ | 1 |
| | 体育Ⅱ（Ⅰ） | 1 |
| | 体育Ⅱ（Ⅱ） | 1 |
| | 学内リサイタル | 3 |
| | 音楽学実習ａ１ | 1 |
| | 音楽学実習ａ２ | 1 |
| | 音楽学実習ｂ１ | 1 |
| | 音楽学実習ｂ２ | 1 |
| | 音楽学実習ｃ１ | 1 |
| | 音楽学実習ｃ２ | 1 |
| | 音楽学実習ｄ１ | 1 |
| | 音楽学実習ｄ２ | 1 |
| | 音楽家のためのトレーニング実践Ⅰ | 1 |
| | 音楽家のためのトレーニング実践Ⅱ | 1 |

別表第４（第３２条関係）［美術学部］

（令和元年度から令和３年度に入学した者に適用）

| 区　　分 | 授　　業　　科　　目 | 単位数 |
|---|---|---|
| 教育の基礎的理解に関する科目等 | 教育原理 | 2 |
| | 教員の職務論 | 2 |
| | 教育行政学 | 2 |
| | 教育心理学 | 1 |
| | 特別支援教育論 | 1 |
| | 教育の課程と方法 | 2 |
| | 道徳教育指導論 | 2 |
| | 特別活動及び総合的な学習の時間の指導法 | 2 |
| | 教育方法論 | 2 |
| | 生徒･進路指導論 | 2 |
| | 教育相談の基礎と方法 | 2 |
| | 事前事後指導 | 1 |
| | 教育実習Ⅰ | 2 |
| | 教育実習Ⅱ | 2 |
| | 教職実践演習 | 2 |

| 区　　分 | 授　　業　　科　　目 | 単位数 |
|---|---|---|
| 教科及び教科の指導法に関する科目 | 美術科教育法Ａ | 2 |
| | 美術科教育法Ｂ | 2 |
| | 工芸科教育法Ⅰ | 2 |
| | 工芸科教育法Ⅱ | 2 |
| | 美術科教育法Ⅰ | 2 |
| | 美術科教育法Ⅱ | 2 |
| | 美術概論１ | 2 |
| | 美術概論２ | 2 |
| | 工芸概論 | 2 |
| | 図法及び製図１ | 2 |
| | 図法及び製図２ | 2 |
| | 工芸制作１ | 2 |
| | 工芸制作２ | 2 |

※その他の教科及び教科の指導法に関する科目は、別表第２の授業科目のうちから別に定める。

（令和４年度以降に入学した者に適用）

| 区　　分 | 授　　業　　科　　目 | 単位数 |
|---|---|---|
| 教育の基礎的理解に関する科目等 | 教育原理 | 2 |
| | 教員の職務論 | 2 |
| | 教育行政学 | 2 |
| | 教育心理学 | 1 |
| | 特別支援教育論 | 1 |
| | 教育の課程と方法 | 2 |
| | 道徳教育指導論 | 2 |
| | 特別活動及び総合的な学習の時間の指導法 | 2 |
| | 教育方法論（ＩＣＴの活用を含む） | 2 |
| | 生徒･進路指導論 | 2 |
| | 教育相談の基礎と方法 | 2 |
| | 事前事後指導 | 1 |
| | 教育実習Ⅰ | 2 |
| | 教育実習Ⅱ | 2 |
| | 教職実践演習 | 2 |

| 区　　分 | 授　　業　　科　　目 | 単位数 |
|---|---|---|
| 教科及び教科の指導法に関する科目 | 美術科教育法Ａ | 2 |
| | 美術科教育法Ｂ | 2 |
| | 工芸科教育法Ⅰ | 2 |
| | 工芸科教育法Ⅱ | 2 |
| | 美術科教育法Ⅰ | 2 |
| | 美術科教育法Ⅱ | 2 |
| | 美術概論１ | 2 |
| | 美術概論２ | 2 |
| | 工芸学概論 | 2 |
| | 図法及び製図１ | 2 |
| | 図法及び製図２ | 2 |
| | 工芸制作１ | 2 |
| | 工芸制作２ | 2 |

※その他の教科及び教科の指導法に関する科目は、別表第２の授業科目のうちから別に定める。

（令和元年度以降に入学した者に適用）

| 区　　分 | 授　　業　　科　　目 | 単位数 |
|---|---|---|
| 教育の基礎的理解に関する科目等 | 教育原理 | 2 |
| | 教員の職務論 | 2 |
| | 教育行政学 | 2 |
| | 教育心理学 | 1 |
| | 特別支援教育論 | 1 |
| | 教育課程論 | 2 |
| | 道徳教育指導論 | 2 |
| | 特別活動及び総合的な学習の時間の指導法 | 2 |
| | 教育方法論 | 2 |
| | 生徒･進路指導論 | 2 |
| | 教育相談の基礎と方法 | 2 |
| | 事前事後指導 | 1 |
| | 教育実習Ⅰ | 2 |
| | 教育実習Ⅱ | 2 |
| | 教職実践演習 | 2 |

| 区　　分 | 授　　業　　科　　目 | 単位数 |
|---|---|---|
| 教科及び教科の指導法に関する科目 | 音楽科教育法Ⅰ | 2 |
| | 音楽科教育法Ⅱ | 2 |
| | 音楽科教育法Ⅲ | 2 |
| | 音楽科教育法Ⅳ | 2 |

※その他の教科及び教科の指導法に関する科目は、別表第３の授業科目のうちから別に定める。

（令和４年度以降に入学した者に適用）

| 区　　分 | 授　　業　　科　　目 | 単位数 |
|---|---|---|
| 教育の基礎的理解に関する科目等 | 教育原理 | 2 |
| | 教員の職務論 | 2 |
| | 教育行政学 | 2 |
| | 教育心理学 | 1 |
| | 特別支援教育論 | 1 |
| | 教育課程論 | 2 |
| | 道徳教育指導論 | 2 |
| | 特別活動及び総合的な学習の時間の指導法 | 2 |
| | 教育方法論（ＩＣＴの活用を含む） | 2 |
| | 生徒･進路指導論 | 2 |
| | 教育相談の基礎と方法 | 2 |
| | 事前事後指導 | 1 |
| | 教育実習Ⅰ | 2 |
| | 教育実習Ⅱ | 2 |
| | 教職実践演習 | 2 |

| 区　　分 | 授　　業　　科　　目 | 単位数 |
|---|---|---|
| 教科及び教科の指導法に関する科目 | 音楽科教育法Ⅰ | 2 |
| | 音楽科教育法Ⅱ | 2 |
| | 音楽科教育法Ⅲ | 2 |
| | 音楽科教育法Ⅳ | 2 |

※その他の教科及び教科の指導法に関する科目は、別表第３の授業科目のうちから別に定める。

別表第５（第３２条関係）

（令和７年度以前に入学した者に適用）

| 区　　分 | 授　　業　　科　　目 | 単位数 |
|---|---|---|
| 必修科目 | 生涯学習概論 | 2 |
| | 博物館概論 | 2 |
| | 博物館経営論 | 2 |
| | 博物館資料論 | 2 |
| | 博物館資料保存論 | 2 |
| | 博物館展示論 | 2 |
| | 博物館教育論 | 2 |
| | 博物館情報・メディア論 | 2 |
| | 博物館実習１ | 2 |
| | 博物館実習２ | 2 |
| 選択科目 | 日本美術史演習１ | 2 |
| | 日本美術史演習２ | 2 |
| | 日本美術史（絵画）１ | 2 |
| | 日本美術史（絵画）２ | 2 |
| | 日本美術史（彫刻）１ | 2 |
| | 日本美術史（彫刻）２ | 2 |
| | 東洋美術史１ | 2 |
| | 東洋美術史２ | 2 |
| | 西洋美術史１ | 2 |
| | 西洋美術史２ | 2 |
| | 彫刻史１ | 2 |
| | 彫刻史２ | 2 |
| | 美術史特講１ | 2 |
| | 美術史特講２ | 2 |
| | 陶磁器工芸史１ | 2 |
| | 陶磁器工芸史２ | 2 |
| | 染織工芸史１ | 2 |
| | 染織工芸史２ | 2 |
| | 考古学 | 2 |
| | 建築史１ | 2 |
| | 建築史２ | 2 |
| | 漆工史１ | 2 |
| | 漆工史２ | 2 |

| | | |
|---|---|---|
| | 宇宙の物理１ | ２ |
| | 宇宙の物理２ | ２ |
| | 宇宙と物質の科学 | ２ |
| | 現代物理１ | ２ |
| | 現代物理２ | |
| | 化学１ | ２ |
| | 化学２ | ２ |
| | 現代生物学１ | ２ |
| | 現代生物学２ | ２ |

（令和８年度以降に入学した者に適用）

| 区　　分 | 授　　業　　科　　目 | 単位数 |
|---|---|---|
| 必修科目 | 生涯学習概論 | ２ |
| | 博物館概論 | ２ |
| | 博物館経営論 | ２ |
| | 博物館資料論 | ２ |
| | 博物館資料保存論 | ２ |
| | 博物館展示論 | ２ |
| | 博物館教育論 | ２ |
| | 博物館情報・メディア論 | ２ |
| | 博物館実習１ | ２ |
| | 博物館実習２ | ２ |
| 選択科目 | 日本美術史演習１ | ２ |
| | 日本美術史演習２ | ２ |
| | 日本美術史（絵画）１ | ２ |
| | 日本美術史（絵画）２ | ２ |
| | 日本彫刻史概説 | ２ |
| | 日本美術史（彫刻） | ２ |
| | 東洋美術史１ | ２ |
| | 東洋美術史２ | ２ |
| | 西洋美術史１ | ２ |
| | 西洋美術史２ | ２ |
| | 彫刻史１ | ２ |
| | 彫刻史２ | ２ |
| | 美術史特講１ | ２ |
| | 美術史特講２ | ２ |

| | | |
|---|---|---|
| | 陶磁器工芸史１ | ２ |
| | 陶磁器工芸史２ | ２ |
| | 染織工芸史１ | ２ |
| | 染織工芸史２ | ２ |
| | 考古学 | ２ |
| | 建築史１ | ２ |
| | 建築史２ | ２ |
| | 漆工史１ | ２ |
| | 漆工史２ | ２ |
| | 宇宙と物質の科学 | ２ |
| | 宇宙の科学 | ２ |
| | 物理の世界 | ２ |
| | 化学Ⅰ | ２ |
| | 化学Ⅱ | ２ |
| | 生物学Ⅰ | ２ |
| | 生物学Ⅱ | ２ |

別表第６（第４６条関係）

| 区　　分 | 教員の免許状の種類（教科） |
|---|---|
| 美　術　学　部 | 中学校教諭一種免許状（美術） |
| | 高等学校教諭一種免許状（美術） |
| | 高等学校教諭一種免許状（工芸） |
| 音　楽　学　部 | 中学校教諭一種免許状（音楽） |
| | 高等学校教諭一種免許状（音楽） |